



第203号
発行所 支部 和 部
千教組 長 生 者 嗣
中 村 集 部
情 宣 所
小 路 印 刷 所

「今、思うこと」

無駄の無ではなく、無限の無



支部長 田口知彦

先生方は、今何を思っているのでしょうか。一年前の突然の要請に、誰もが切歯腐心し、行き場のない気持ちを抱いた



書記長 中村和嗣

つながることの大切さを感じた一年間
〜今だからこそ、結束してとりくもう〜

今年度は今まで誰もが経験したことのない日常に悩み、戸惑いながらも、皆で支えあい乗り越えてきたのではないでしようか。今年度の組合活動も例年とは異なり、直接会う形でのつながりが難しい状況の中で組合員のため、子どもたちのために何ができるかを考え、活動してきました。組合員の声や力を集めた今年度の成果を三つ紹介いたします。

- ① 不妊治療（療養休暇）の取得要件緩和
② 新型コロナウイルス感染拡大防止のための学びの保障のための人員増加
③ 今年度・来年度の教員免許更新講習の講習期間の延長が可能
この三つを挙げたいと思います。理由は、組合員の声が届いたからです。
①に關して
地公労と連携し、少子化対策推進のために休暇制度の充実が必要である現状を伝えたり、県教委交渉では不妊治療のための療養休暇が認められているもの、取得のしにくさから年休で治療・通院をしている教職員も多い実態があることを伝えたりしてきました。
②に關して
臨時休業明け、感染防止のため、教育活動の制限もある中、マスクをつけての授業やさらには消毒作業の負担など、非

ことだったと思います。しかし、未だ七転八倒の状況であり、みんなで乗り越えようと支え合っているのではないでしようか。
私は何かに行き詰まった時、ふと先人の考え方に触れてみることであります。当たり前が通用しない世の中になっても、古きを訪ね、新しきを知ることをしてみると、背中を押してくれる考え方にめぐりあうことがあります。それは老子の「有之以為利、無之以為用」（有の以て利を為すは、無の以て用を為せばなり。）

組合活動の原点は、助け合いです。そして、組合活動の意義とは困っているという声を取り上げ、各関係機関に要望できることです。長期間かかることがほとんどですが、要望し続けることが大切です。今のピンチをチャンスに変え、よりよい未来となるように、今の組合員だけでなく、十年後、二十年後の未来に組合員になる後輩のために、声を届けてください。
最後に、お忙しい中、署名等、皆様にとりこんでいただきました。執行部一同、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

という考え方でした。この「無こそ有り」という考え方は、一見何もなく、役に立たないような「無」の状態も、無だからこそ有益なことにつながるのだからということだそうす。例えば、空のコップに水を注ぐと、入る水の量には限界があります。しかし、コップが無ければ、入る水の量に限界はなくなります。何もないからこそ、何でも挑戦できるということなのかもしれません。コロナ禍の中で、沢山の行事や活動を中止してきた今年度、何もなかった年で終わらせずに、次年度を有益な年にするための「無の年」であったと捉えませんか。何もできなかったからこそ、先生方一人一人の知恵を出し合い、学び合い、各学校の組織力に変え、無限の可能性を広げる二〇二一年度にしていきましょう。これが今、思うことです。未だ先行き不透明な状況に終わりが見えません。このような状況でも支部の活動に對しましてご理解ご協力いただきましたことにつながりを感じました。改めて感謝申し上げます。
「ありがとうございました。」

今年度はこれまでに経験したことはない年になりました。予定されていた研修会も書面開催やオンライン、電話対応等に変わり、研修会自体を中止にする部会も見られました。今後はこの研修会の形についても模索が必要だと感じます。
ところで、中央教育審議会は今後の初等中等教育の方向性をまとめた答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」を了承しました。その中で「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげていくとしています。ここでは、教師に對してICT機器を使用した指導技術は不可欠だとして、子どもの発達段階に応じて対面指導とオンライン教育の双方を使いこなす「ハイブリット化」による指導の充実を求めています。また、先日、職場でGIGAスクール構想におけるタブレット使用の講習を受けました。こうした流れから、今後、教育の形が大きく変わる予感がします。
これまでの教科や領域の研究は継続が必要ですが、それらを含め、私たちに、新たな指導技術が今後、必要となってくると思います。まさに変革の時です。様々な変化をプラスにとらえ、想像力を高めて資質の向上に努めていきたいものです。



文化部長 山口 晋

変革の時

二〇二一年度 千教組 長生支部役員紹介

Table listing committee members for the 2021 fiscal year, including roles like 支部長, 書記長, 副支部長, etc., and names such as 大貫 明宏, 椎原 政文, etc.

女性部活動を通して

女性部長 近藤 祐子



女性部は、今年度三八二人でスタートし、千教組長生支部のローガン「つなぐくささえあい・めぐりあい・まなびあい」の精神のもと、活動にとりくんでまいりました。多くのご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

「つなぐりの大切さ」

青年部長 田中 靖人



今年度も、長生支部青年部の活動に、ご理解とご協力をいただきました。ありがとうございました。

前だと思っていた同期のつながりも、会えなければつくれません。改めて、つなぐりの大切さを実感しました。

第70次教育研究全国集会

1月23日(土)、第70次教育研究全国集会(全国教研)が初のオンラインで開催されました。長生支部からは10名が参加しました。

第70次教育研究全国集会記念講演 「写真で伝える紛争地域、被災地の子どもたち」 NPO法人 Dialogue for People 副代表 安田 菜津紀

ほっとHOTTセミナー開催 心と体のピラティス講座



12月19日(土)、長生支部男女共同企画推進委員会・女性部の活動として「ほっとHOTTセミナー」が開催されました。

「写真から学んだこと」

萩原小分会 渡邊はづき

世界の中には苦しい思いをして過ごしている子どもたちが沢山いることは分かっています。しかし、講演を聞いて写真から現状を知ること、現実から目をそらし続けていた自分がいたことに気付きました。

安田さんの講演を聴いて

東郷小分会 片岡広一

「こんなことを止めるように、大きい人たちに伝えて」この言葉は、安田さんの講演で登場した紛争被害にあつた子どもの一言です。

対面式では、換気を十分にしている、寒さを感じた中で、スタートとなりましたが、普段は動かすことがほとんどない部分を意識的に動かすことで、汗ばむ参加者が

- 【期待できる効果】
・お腹が引き締まる
・美しい姿勢に
・痛みの予防と軽減
・免疫力・代謝の向上
・脂肪燃焼効果で痩せやすい体に
・ストレス解消



数多く見られました。オンライン式では、参加者の方々から「子どもと一緒に参加できた」などの感想も見られ、新たな形での開催が有意義なものになりました。

みんなの夢を応援する「千葉教弘」 教弘保険で 自助・共助・公助
自助：教弘保険、まなびやなどを自分のために
共助：人間ドック、宿泊施設補助などで助け合いを
公助：奨学金、学校研究助成金などは教育振興に
※各事業の詳細は「千葉教弘」で検索を！

千葉県学校生活協同組合
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10 千葉県教育会館新館6階
0120-24-6294 FAX0120-55-2130
千葉県学生協は組合員一人ひとりが「出資者」であり「利用者」であり「運営者」です。
みんなの参加が学生協を育てます。

みなさまの暮らしのパートナー 教職員共済
総合共済を基幹に、8共済で万一に備えています。
●総合共済 ●団体生命・医療共済
●火災+自然災害共済 ●新・終身共済
●自動車共済 ●車両共済
●年金共済 ●交通災害共済
教職員共済千葉県支部
千葉県教育会館新館7F ☎ 043(224)3701